



H.Yamanaka

THE ARTEMIS STAKES

第13回 アルテミスステークス (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 29,000,000円 12,000,000円 7,300,000円 4,400,000円 2,900,000円
付加賞 392,000円 112,000円 56,000円



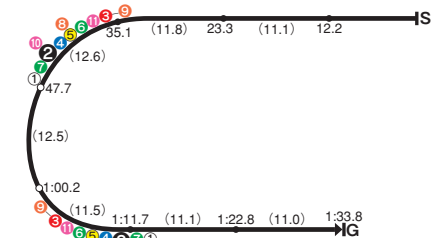
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牝、2歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2024.10.26 東京 曇・良 芝1600m (国産) (指定)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り 通過順位 (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	②	ブラウンラチェット	牝	2	55	C.ルメール	1:33.8	3-3	33.3	440(+2)	4.7③	手塚貴久(美浦)	108
2	①	ミストレス	牝	2	55	坂井瑠星	1¼	1-1	33.8	496(-6)	15.6⑦	矢作芳人(栗東)	105
3	⑧	ショウナンザナドゥ	牝	2	55	池添謙一	アタマ	6-6	33.2	438(+2)	4.1②	松下武士(栗東)	105
4	④	シホリーン	牝	2	55	菅原明良	クビ	5-5	33.4	448(±0)	6.6⑤	武井 亮(美浦)	105
5	③	マイエメント	牝	2	55	横山武史	ハナ	10-10	32.8	480(+12)	6.3④	福永祐一(栗東)	
6	⑩	カムニャック	牝	2	55	川田将雅	ハナ	3-3	33.5	476(±0)	3.1①	友道康夫(栗東)	
7	⑥	マビュース	牝	2	55	田辺裕信	1¼	8-8	33.4	500(+16)	57.9⑧	和田勇介(美浦)	
8	⑪	クレオズニードル	牝	2	55	津村明秀	1¼	9-9	33.5	464(-6)	79.9⑨	和田勇介(美浦)	
9	⑤	ミリオンローズ	牝	2	55	戸崎圭太	1	6-6	33.8	454(-8)	13.4⑥	萩原 清(美浦)	
10	⑨	ザラタン	牝	2	55	北村宏司	½	11-11	33.0	436(+2)	217.2⑩	中竹和也(栗東)	
11	⑦	キョウエイボニータ	牝	2	55	松岡正海	ハナ	2-2	34.4	446(-2)	122.6⑪	伊藤伸一(美浦)	

単勝②470円(3[△]△) 複勝②180円(2[△]△) ①420円(7[△]△) ⑧180円(3[△]△) 枠連①-②4,200円(17[△]△)
馬連①-②4,380円(18[△]△) ワイド①-②1,420円(19[△]△) ②-⑧510円(6[△]△) ①-⑧1,230円(17[△]△)
馬単②-①6,260円(28[△]△) 3連複①-②-⑧6,510円(26[△]△) 3連単②-①-⑧42,370円(166[△]△)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
35.1 - 47.7 - 1:00.2 46.1 - 33.6

アラカルト

- ・C.ルメール騎手はチェルヴィニアで制した23年に続くアルテミスS2勝目。JRA重賞は本年11勝目、通算158勝目
- ・手塚貴久調教師はアルテミスS初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算38勝目
- ・キズナ産駒はJRA重賞通算35勝目

ブラウンラチェット *Brown Ratchet*

牝 鹿毛 2022.4.8生

北海道安平町 ノーザンファーム生産

馬主・(有)サンデーレーシング 美浦・手塚貴久厩舎

馬名意味・形としては永久機関のようにみえる、思考実験上の装置を指す用語

フォエヴァーダーリングUSA系 F2-b

ギズナ 青鹿毛 2010	ディーブインバウト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA
		ウインドインハーヘアIRE
	キャットクイルCAN 鹿毛 1990	Storm Cat
		Pacific Princess
フォエヴァーダーリングUSA Forever Darling 栃栗毛 2013	Congrats 鹿毛 2000	A.P.Indy
		Praise
	Darling My Darling 鹿毛 1997	Deputy Minister
		Roamin Rachel

5代までのインブリード：Mr.Prospector M4×M5
Northern Dancer S5×M5×M5
Secretariat S5×M5

INTERVIEW

佐藤信乃介 厩舎長（ノーザンファーム空港）

背中の中の馬でした

乗り慣らしの頃から背中の中の馬でした。ただ、馬体が小柄だったので成長を促しながら進めていきました。成長過程からすると早い時期のデビューとなりましたが、センスのある走りを見せてくれただけでなく、重賞でも直線でいい末脚を使ってくれました。レース後に手塚調教師やルメール騎手から高い評価をもらったのは、育成スタッフ冥利に尽きます。

Photostud



今年のJRA種牡馬リーディングはギズナが首位を快走中。初の戴冠を目指す総合部門、連覇がかかる2歳部門とも、着々と賞金を加算している。昨年はチエルヴィニアが快勝し、飛躍への一歩を踏み出したアルテミスSも11頭の出走馬中、4頭を占めたギズナ産駒が1〜3着を独占。なかでも非凡な瞬発力を発揮した良馬ブラウンラチェットが出世の「登竜門」といえるレースを制し、前途への期待を大きく膨らませた。

新潟・芝1600mの新馬戦を6馬身差で逃げ切り、中1週の間隔で臨んできたミストレスが、最内枠から軽快に飛び出してレースを先導。五分のス

中盤にペースを緩め、楽な手応えで直線に向けたミストレスは残り400m地点から本格的にスパート。11秒台前半のラップを連発して押し切りにかかる。対してブラウンラチェットは前が壁になり、しばらく追い出しを待たされたものの、狭いスペースが開いた坂の上り、すかさずルメール騎手が仕掛けると鋭く加速。懸命に逃げ粘るミストレスをかわし、シヨウナンザナドゥの追撃も寄せ付けずに勝利を掴んだ。フォーエバーヤングの半妹にあたる本馬はデビューから芝の舞台に照準を定められ、好位追走から抜け出した新馬戦（中山・芝1800m）に続く連勝を飾って初のタイトルを獲得した。いわゆる加速ラップ（ラスト2分は11秒1〜11秒0）を刻み、後続を突き放したこの日の勝ちっぷりは着差以上の強さを感じさせるもの。歴代の優勝馬に数々のGIウイナーが名を連ねる出世レースから、今年も楽しみな女王候補が名乗りをあげた。

父ギズナ

北海道新冠町 株式会社ノースヒルズ生産 詳細はP.6参照

母フォエヴァーダーリングUSA

北米9戦2勝（サントイネスS^{G2}、エンジェルズフライトS・L2着）、17年輸入モンファボリ（18 牝父Frankel）持込 中央25戦3勝（手稲山特別）ダノマイソウル（19 牝父ディーブインバウト）中央8戦1勝
ビヌスアモリス（20 牝父ハッククライ）中央7戦0勝

フォーエバーヤング（21 牝父リアルスティール）中央1戦1勝、地方3戦3勝（ジャパンダートクラシックJ^I、全日本2歳優駿J^I、JBC2歳優駿J^{III}）、首、沙、北米3戦2勝（UAEダービー・首^{G2}、サウジダービー・沙^{G3}、ケンタッキーダービー・米^{G1}3着）（現）

ブラウンラチェット 本馬（22 牝父ギズナ）中央2戦2勝（アルテミスS^{Gm}）獲得総賞金36,592,000円

（23 牝父エビファネイア）

（24 牝父レイデオロ）

祖母ダーリングマイダーリング Darling My Darling

アメリカ産 北米5勝（ダブルドッグデアS・L、レイヴンランS・L、フリゼットS^{G1}2着、メイトロンS^{G1}2着、ボーモントS^{G2}3着）

ダーリングモン Darling Mon（03 牝父Maria's Mon）北米4勝

スカイマイダーリング Sky My Darling（07 牝父Sky Mesa）不出走、チャールズドブロンクス Charles Do Bronxs（ピラティニンガ大賞・伯^{G3}、アンテノールラLカンボス大賞・伯^{G3}）の母

ダーリングズダーリング Darling's Darling（09 牝父Bernardini）不出走、

ノーザンフレイム Northern Flame（レベルS・米^{G2}3着）、オンアラート On Alert（フロリダオークス・米^{G3}3着）の母

フォエヴァーダーリングUSA（13 前出）

ヘヴンリーラブ Heavenly Love（15 牝父Malibu Moon）北米2勝（アルシバイアディーズS・米^{G1}、リグレットS・米^{G3}3着）、シエラレオネ Sierra Leone（ブルーグラスS・米^{G1}、リズンスターS・米^{G2}、ケンタッキーダービー^{G1}2着、ベルモントS^{G1}3着、トラヴァーズS^{G1}3着）の母

曾祖母ローミンレイチェルUSA

北米9勝（バレリーナH・米^{G1}、ボーモントS・米^{G2}）、98年輸入、01年死亡、ゼノロブロイ（ジャパンC^{G1}、有馬記念^{G1}、天皇賞（秋）^{G1}、年度代表馬、種牡馬）の母、タガノエリザベア（ファンタジーS^{Jh}III）キャットコイン（クイーンC^{Gm}）、ワンプレスアウェイ（愛知杯^{Gm}）、ロックディスタウン（札幌2歳S^{Gm}）の祖母

2歳女王の登竜門をギズナ産駒が独占

今年のJRA種牡馬リーディングはギズナが首位を快走中。初の戴冠を目指す総合部門、連覇がかかる2歳部門とも、着々と賞金を加算している。昨年はチエルヴィニアが快勝し、飛躍への一歩を踏み出したアルテミスSも11頭の出走馬中、4頭を占めたギズナ産駒が1〜3着を独占。なかでも非凡な瞬発力を発揮した良馬ブラウンラチェットが出世の「登竜門」といえるレースを制し、前途への期待を大きく膨らませた。

中盤にペースを緩め、楽な手応えで直線に向けたミストレスは残り400m地点から本格的にスパート。11秒台前半のラップを連発して押し切りにかかる。対してブラウンラチェットは前が壁になり、しばらく追い出しを待たされたものの、狭いスペースが開いた坂の上り、すかさずルメール騎手が仕掛けると鋭く加速。懸命に逃げ粘るミストレスをかわし、シヨウナンザナドゥの追撃も寄せ付けずに勝利を掴んだ。フォーエバーヤングの半妹にあたる本馬はデビューから芝の舞台に照準を定められ、好位追走から抜け出した新馬戦（中山・芝1800m）に続く連勝を飾って初のタイトルを獲得した。いわゆる加速ラップ（ラスト2分は11秒1〜11秒0）を刻み、後続を突き放したこの日の勝ちっぷりは着差以上の強さを感じさせるもの。歴代の優勝馬に数々のGIウイナーが名を連ねる出世レースから、今年も楽しみな女王候補が名乗りをあげた。